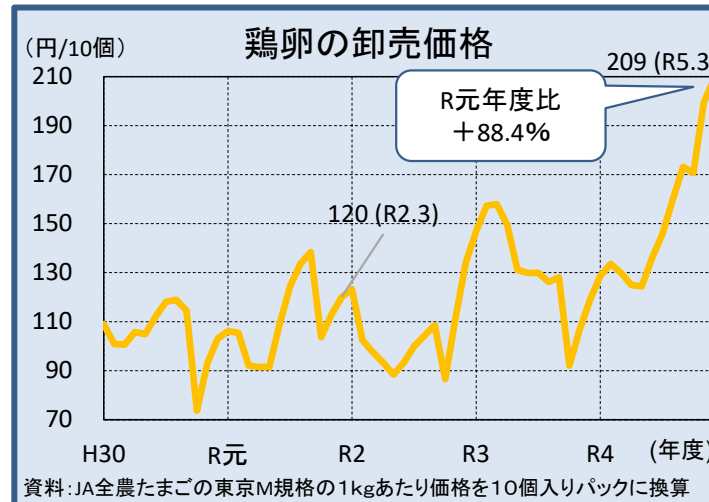
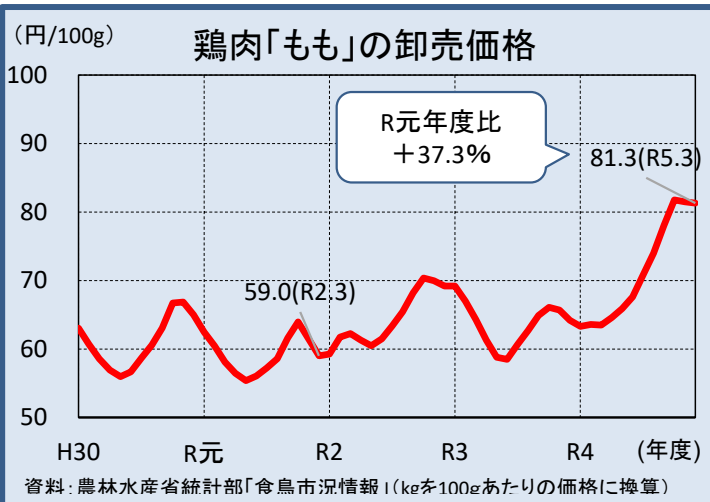
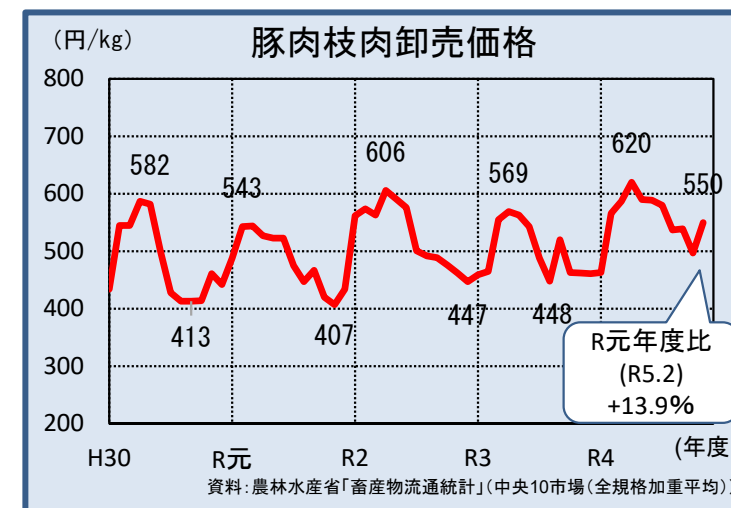
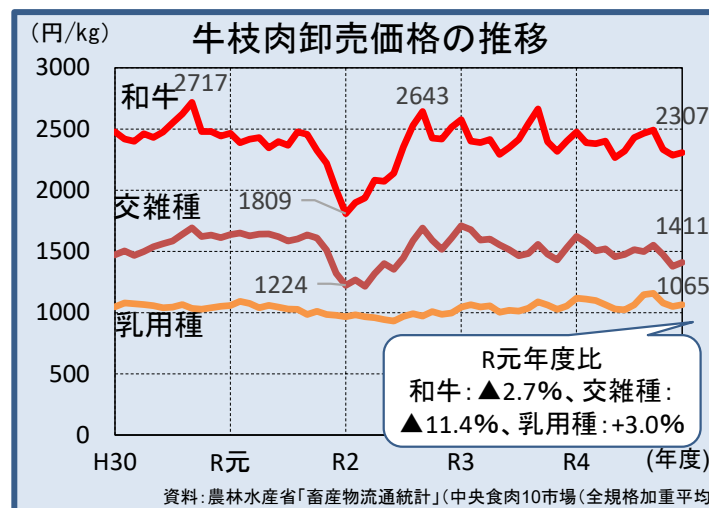
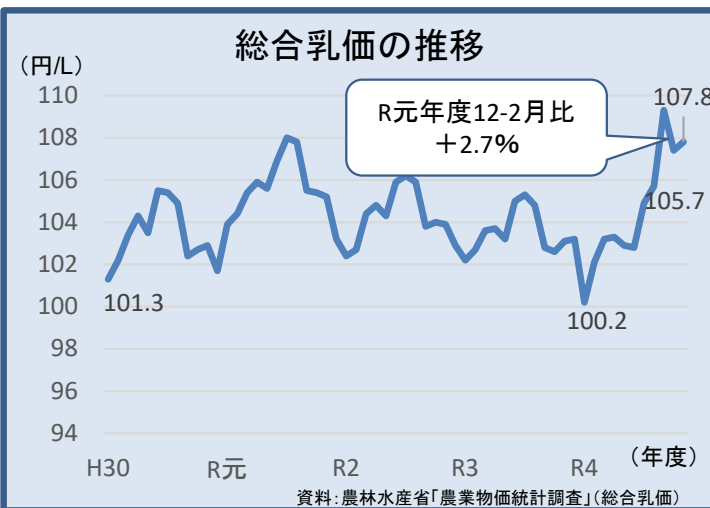


(参考)畜産物の卸売価格の動向

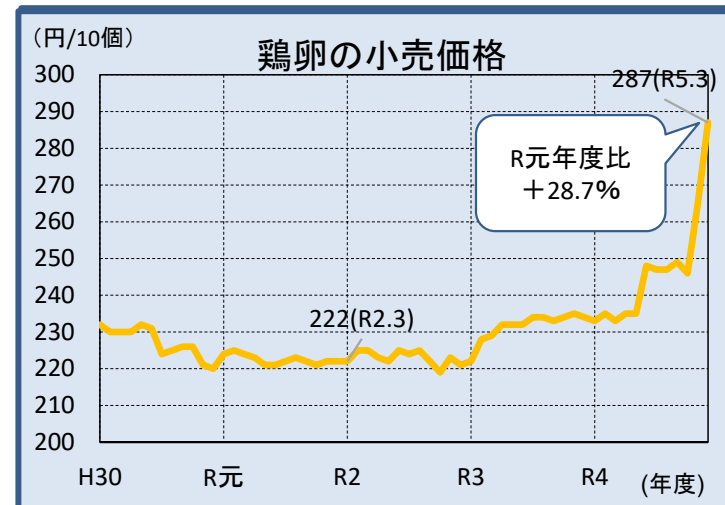
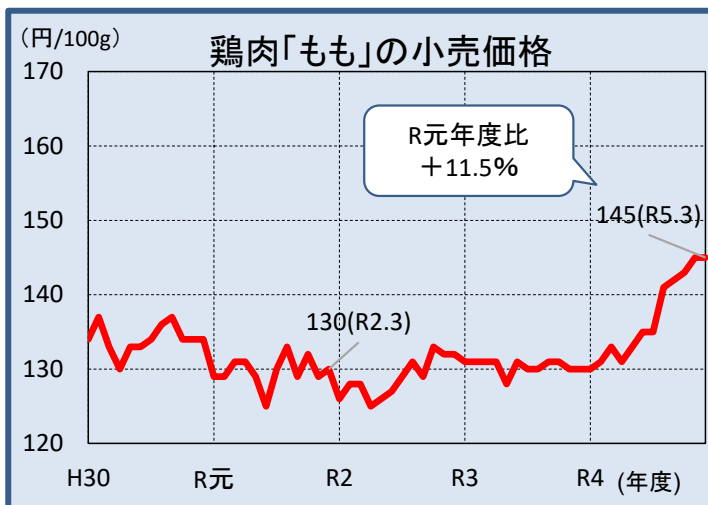
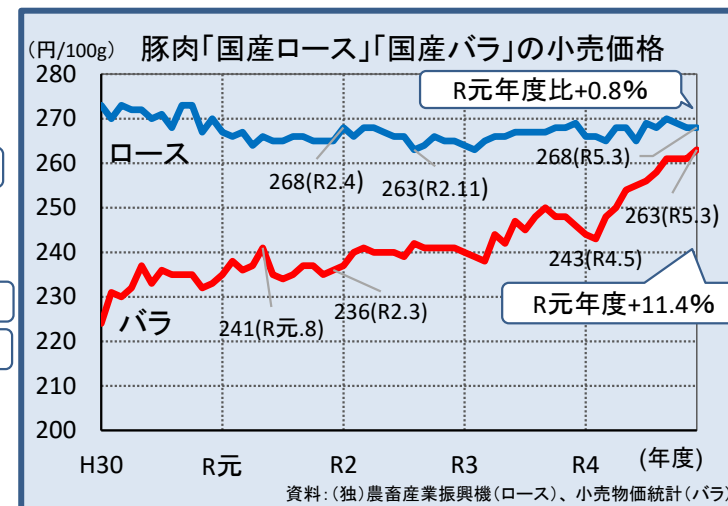
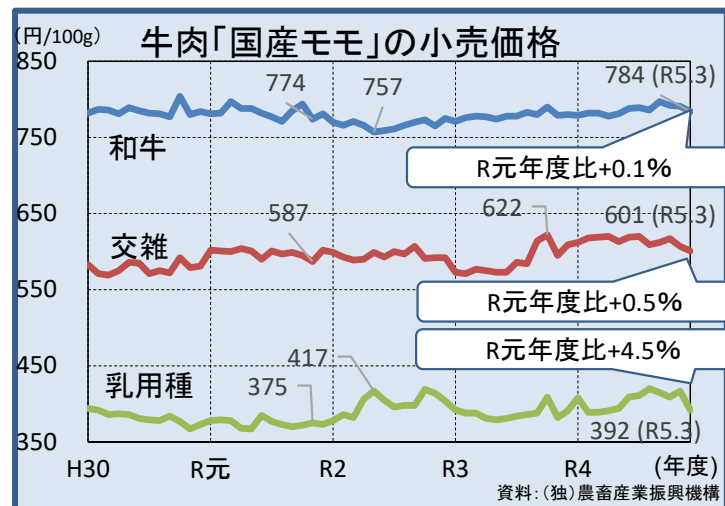
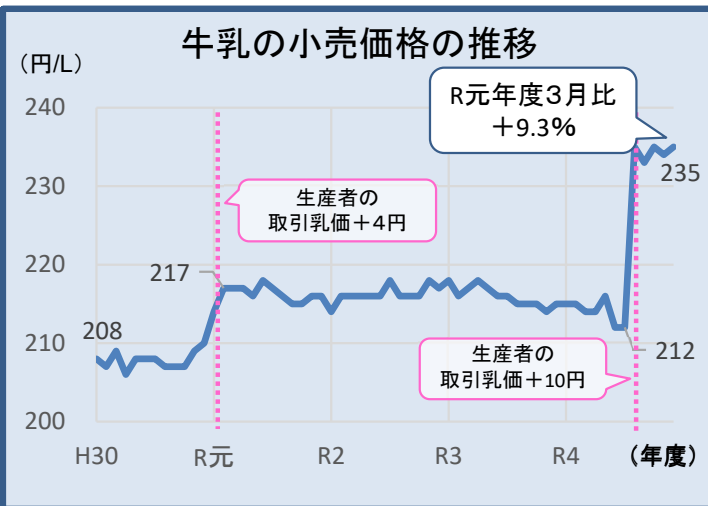
参考資料

- 生乳の取引乳価(総合乳価※)は、季節や需給環境により変動するが、直近では生産コストの上昇等に伴う飲用乳価の引上げにより令和元年度12-2月比で2.7%上昇。 ※ 総合乳価とは、乳製品向けを含む生乳取引価格から集送乳経費や手数料を控除し、加工原料乳生産者補給金を加算したもの。農家の手取り乳価
- 牛肉・豚肉の卸売価格は、食肉市場のセリにおいて需給バランスにより決定されるが、牛肉は令和元年度と比較して乳用種は3%上昇、和牛は2.7%下落、交雑種はと畜頭数の増加等により11.4%下落。豚肉は輸入豚肉の高騰等を背景に国産の引き合いが高まり、令和元年度と比較し13.9%上昇。
- 鶏肉の卸売価格は、輸入鶏肉の高騰等を背景に国産の引き合いが高まり、令和元年度と比較し37.3%上昇。
- 鶏卵の卸売価格は、生産コストの上昇に加え鳥インフルエンザの発生による供給量減少等により、令和元年度と比較し88.4%上昇。



(参考)畜産物の小売価格の動向

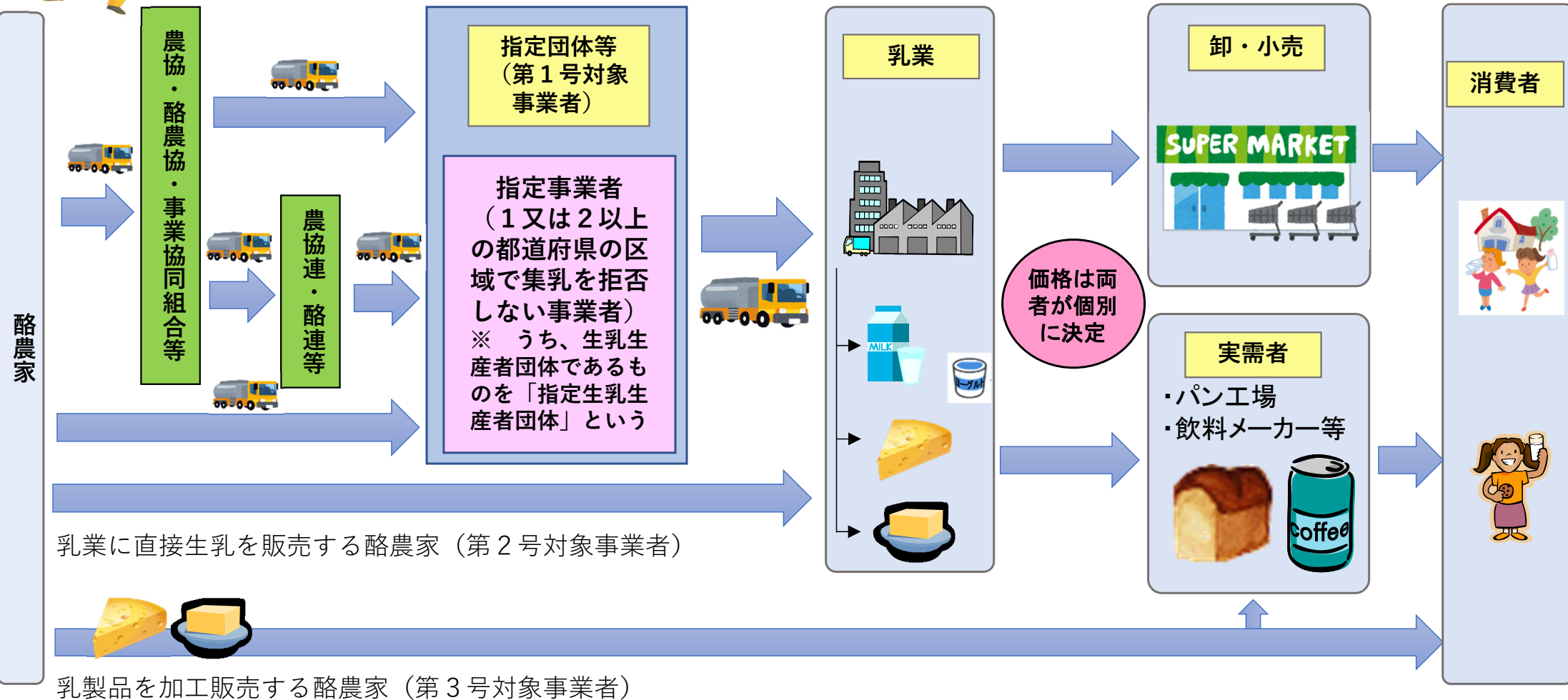
- 牛乳の小売価格は、飲用向け乳価の上昇に伴い、直近では令和元年度3月比と比較し9.3%上昇。
- 牛肉・豚肉の小売価格は、食肉市場のセリ価格等を基準に設定されるが、牛肉は令和元年度と比較しやや上昇、豚肉は輸入豚肉の高騰等を背景に、近年需要が高まっているバラでは11.4%上昇。
- 鶏肉の小売価格は、輸入鶏肉の高騰等を背景に国産の引き合いが高まり、令和元年度と比較し11.5%上昇
- 鶏卵の小売価格は、生産コストの上昇に加え鳥インフルエンザの発生による供給量減少等により、令和元年度と比較し28.7%上昇



(参考)牛乳乳製品の流通

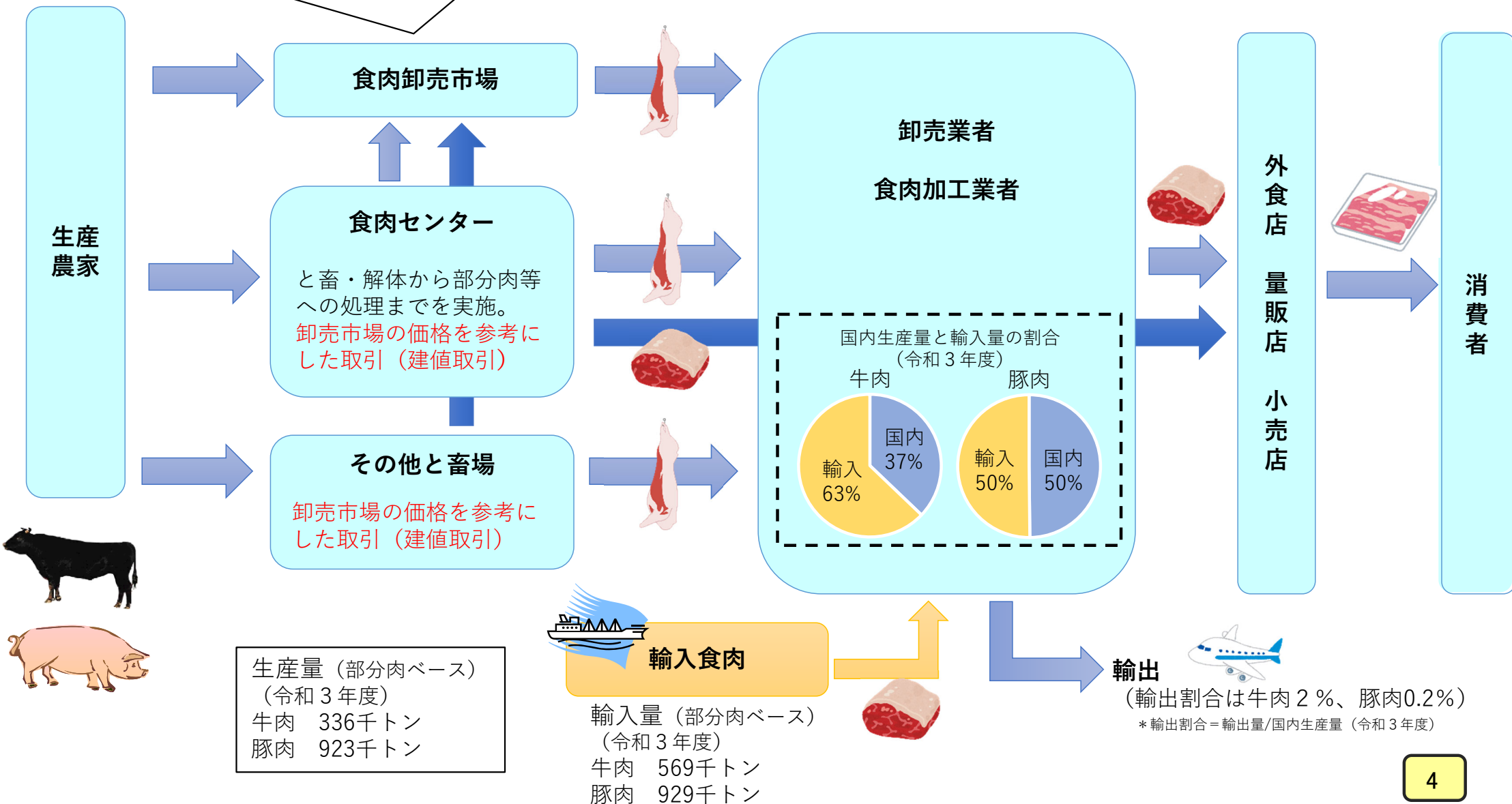


生乳を集めて乳業に販売する事業者（第1号対象事業者）

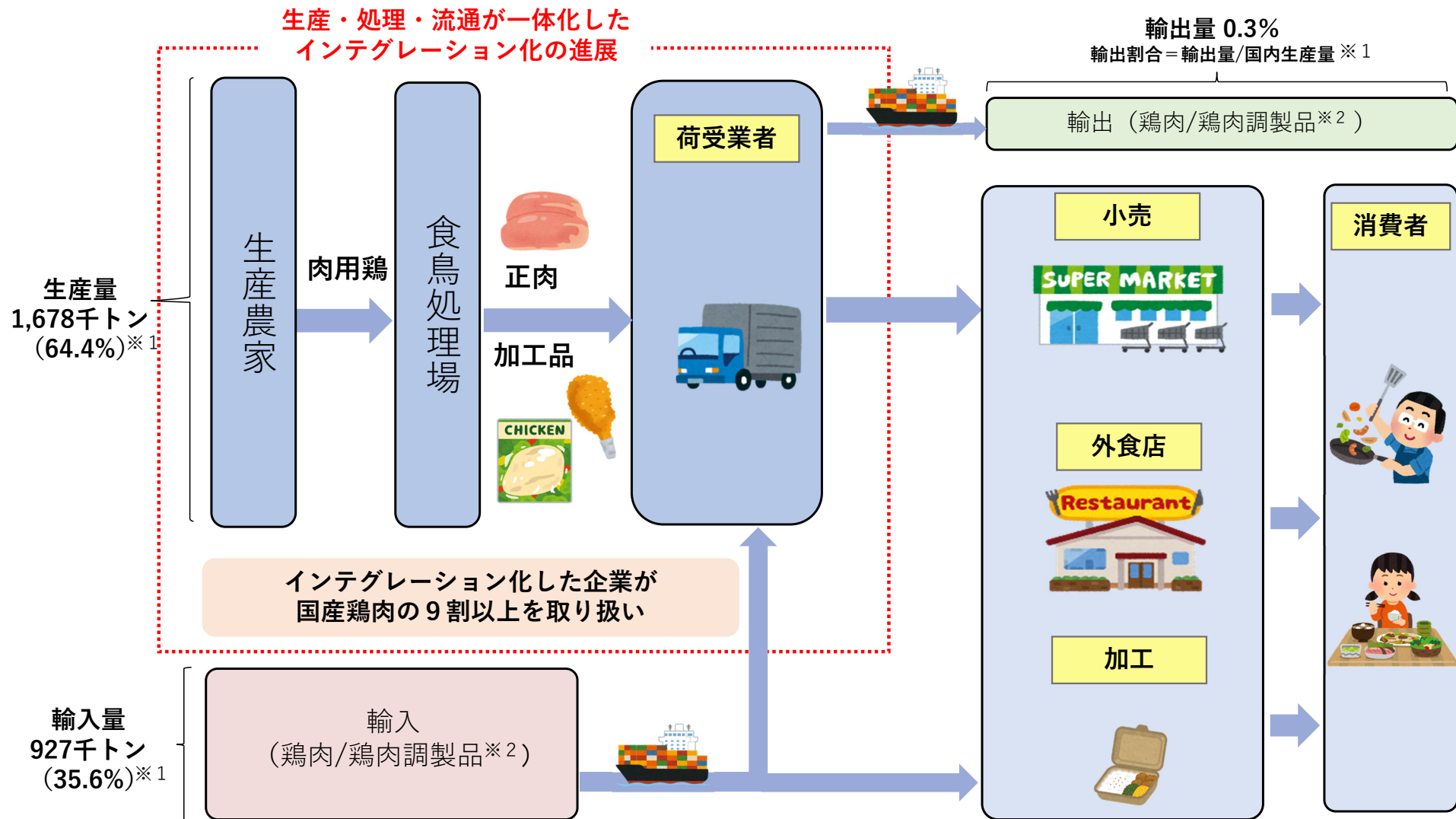


(参考)牛肉・豚肉の流通

多数の購買者が価格をセリ合い一番高い価格をつけた者が買い受ける
「セリ売」により枝肉卸売価格を形成 (→建値形成の機能)



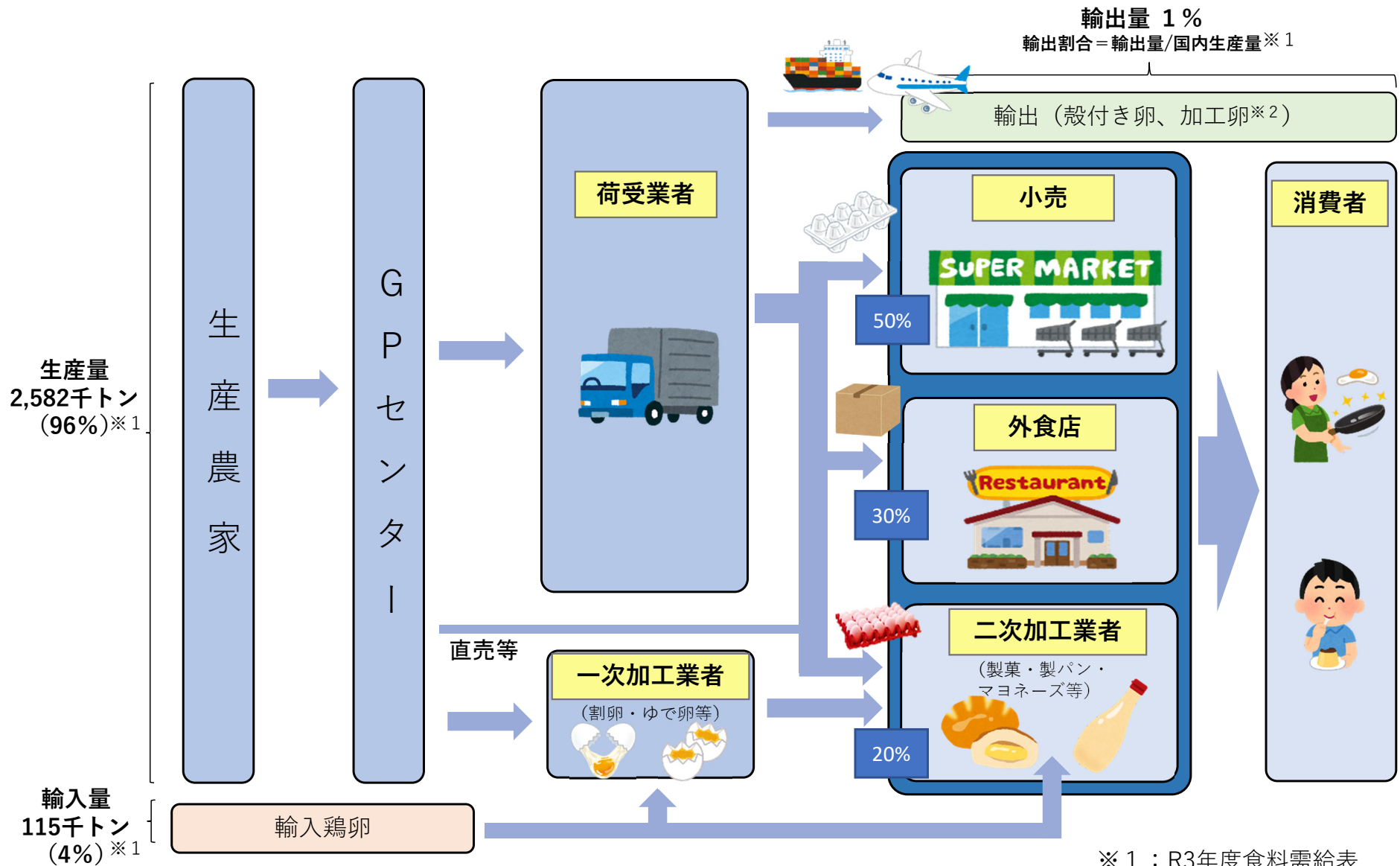
(参考)鶏肉の流通



※1：R3年度食料需給表（採卵鶏を含む）

※2：唐揚げ、焼き鳥、フライドチキン、チキンナゲット、サラダチキン等

(参考) 鶏卵の流通



※1 : R3年度食料需給表

※2 : 温泉たまご、錦糸卵等